

Shonan Gakuen

湘南学園

中高図書委員会

School Library

2019年 前期図書委員会

原稿作成：各班班長

編集：企画班 古本市プレゼン係

図書委員の活動目標

- ◆ 図書室利用者を増やす
- ◆ 「プロの図書委員」を育成する

【2019年度前期の目標】

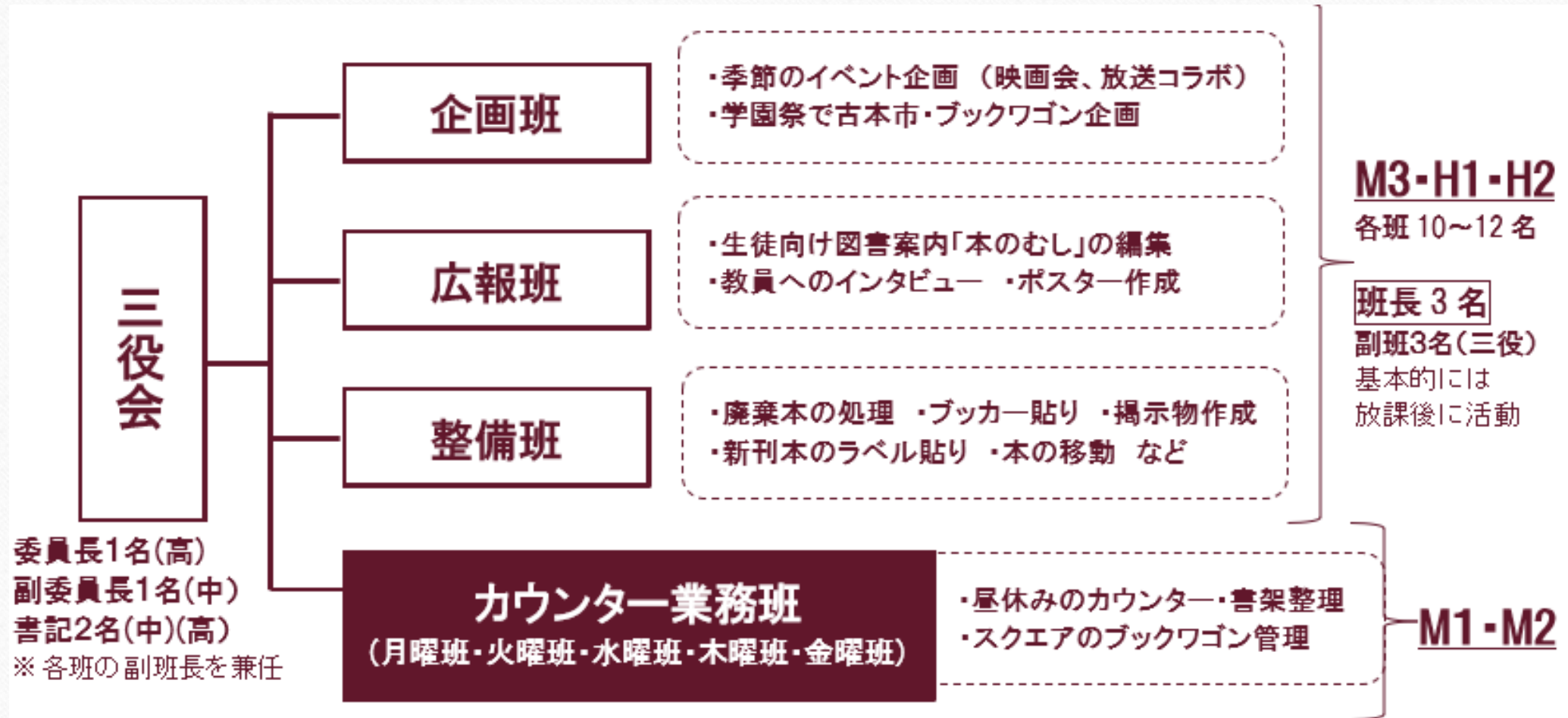
INDEPENDENT (インディペンデント)

他人に指示される前に、自分で考えて行動できる
「独立した」図書委員になることを目指す



委員会を班組織へと変えた、
改革者たち(明治時代)

図書委員会組織図



カウンター一班

昼休みに本の貸出・返却を行う、
いわば図書室の受付係です。

中1・中2の委員が曜日ごとに担当し、
図書委員としての経験を積みます。





カウンター班のおしごと

① 本の貸出・返却作業

- 主に昼休みにカウンターで本の貸出・返却を行います。
- 図書委員会では**ポイントカード**制度を導入しています。希望者には貸し出し冊数に応じたポイントを付与しています。





カウンター班のおしごと

② 配架作業

- 配架とは返却ワゴンに返された本を書架の正しい位置に戻す作業です。



委員経験がない生徒にむけて、先輩委員が正しい配架の手順を教える、**配架講習会**も実施しています。



カウンター班のおしごと

③ 書架の整頓、図書装備

- 利用者が本を探しやすいよう、番号順を並べたり、乱れた書架を整頓します。
- そのほか、新しい本に分類シールを貼ったり、帯を切り取ったりなど、さまざまな作業の手伝いをします。



整備班

新刊本の装備作業や、
除籍本の廃棄、本の移動など
図書室の環境を整備する係です。

中3～高2までの委員10～15名が、週1回
放課後30分程度の作業を行っています。





整備班のおしごと

① 新刊受け入れ作業

- 図書室に新しく入った本に、蔵書印を押したりラベルを貼ったりする作業です。
- 毎月100冊ちかい本が入ってくるので、整備班のほかに**ボランティア**の生徒も協力してくれています。





整備班のおしごと

② 除籍本の廃棄作業



- 出版年が古いもの、傷んだものなど図書室で不要になった本を除籍処理し、段ボールに詰めて廃棄する作業です。
- ボランティアの生徒の協力もありここ数年で廃棄作業が進み、書架がとても見やすくなりました。



整備班のおしごと

③ 本のブッカー貼り

- 本が汚れるのを防ぐため、表面に透明の専用シート（ブッカー）を貼り付ける作業です。
- 上手にブッカーを貼るには熟練の技が必要です。ベテランの生徒が指導役となって、作業を教えています。





整備班のおしごと

④ 書架サインの作成



- 利用者が本を探しやすくなるよう、**分類や請求記号**を示す書架サイン（案内）を作成します。
- 3年前から少しずつサインを増やし、現在はとても見やすくなったと好評です。今後は小分類の見出しを作っていきます。



整備班のおしごと

⑤ 新着雑誌案内、書架メンテナンス

- 図書室に毎月はいるたくさんの雑誌の新刊情報を案内するため、定期的に雑誌の表紙をコピーし、クラスエリアなどの廊下に貼りだしています。
- 資料の移動や、本の滑り出し防止テープの貼り付けを行っています。滑り出し防止テープは、地震などの際に書架から本が滑り落ちて人に当たるのを防ぐため、棚板の表面に貼るテープのことです。

広報班

図書委員や教員のおすすめ本を紹介する広報誌『本のむし』を定期的に発行しています。

中3～高2までの委員5～7名が、各自担当を決めて編集作業にあたっています。





広報班のおしごと

① 「本のむし」 編集



- 図書委員のおすすめの本の紹介文を編集し、**中高生版「本のむし」**という広報誌に掲載します。
- 「本のむし」は現在は掲示版として年4回ほど発行しています。





広報班のおしごと

② 「先生のおすすめ本」 インタビュー

先生のオススメ本 『SDGsアクションブック』

SDGsについて簡単に一通りのことが学べます。単は資料が少なく、大人でも理解するのが難しい課題でしたらみなさんは驚かれていますと笑う！神奈川県県立なので、湘南学園のことも紹介されていますよ

『対話型ファンフィクションの手ほどき』

大学で英文学を専攻していた際に、手に取った本です。ファンフィクションとは、暴団で活動する際に、それが上手く進むように導くことを指します。この本では、「なぜ？と驚いてはいけない」「深く入り込まない」など、対話の際のコツを具体的に解説しています。

『エチカ -倫理学- スピノザ』

有名な哲学者の一人であり、実は私も学生時代に、途中で読むのをやめました(笑) 一番印象に残っているのは「人が『死にたい』と思った時、それは自分の責任によるものではなく、外側からのエネルギーにのせいである」という部分です。心療医学を専攻していた際に、周囲に自殺する人が少なからずいて、それに疑問を持っていたので興味源かったです。

英語科
小倉先生

先生のオススメ本 『新編さんの謎』 赤瀬川源平

三省堂書店から出ている「新編解題辞典」は、国語辞典の中でも原色の存在とて有名です。例えば【変】や【恠】の定義(意味)が、ドン引きするほど面白いです(笑) また、新しい仮面が出てくるとその内容も変わるので、書く人の個性が読み出せるところが面白いです。僕は辞書というより、もはや読み物のように楽しんでいます。この本はそんな「新編解題辞典」の不思議な世界を紹介しています。

『井田幸三物語』 東公平

彼は戦後、日本を統治した朝鮮から帰郷を命じられたとして知られる。帰郷早のレジェンドです。自身が「帰郷は運命の舟を利用する。これは国際法違反で、野郎だ」としたのに対し、彼は「チェスは運命の舟を助けた。いざとなったらキングを守るためにクイーンを身代わりしている。そちらの方が野郎である。将棋は運命を運轉場所に配置し、それぞれの役割を果たせるようにさせていて、民主主義的である」と返しました。このような逸話があれば、彼の生き方の破天荒ぶりもまた、たいへん面白いです。将棋に運命が隠れている人がぜひ読んでほしい1冊です。

国語科
稲澤先生



- 先生のおすすめの本や中高生時代に読んでいた本についてインタビューし、原稿にまとめて「本のむし」に掲載します。
- 毎回、どの先生のインタビューが掲載されるのか、多くの生徒が楽しみにしています。



広報班のおしごと

③ 「突撃!となりの読書家さん」対談

- 年間100冊以上の本を読む**読書家の生徒**や、特定のジャンルに詳しい生徒どうしで対談してもらい、記事におこして「本のむし」に掲載します。
- 教員やあまり本を読まない他の生徒にも、本好きな人々の生態について知ってもらうことができます。

高校3年生 Mさん 年間読書賞初代チャンピオン
図書委員 T氏 インタビュー担当 ほぼ毎日3冊読書

突撃!となりの読書家さん!! 第1回

「若者の読書離れ」が進む令和ニッポン...
しかし湘南学園にはまだ、年間100冊以上の本を読む強者たちがいる!!
これは、そんな希少なイキモノたちの生態に迫る、初のインタビューである。

~いつ本を読んでいる?~
T「10分休みや、自転車で信号待ちしてる時とか...あらゆる隙間時間!」
M「私は登下校の電車の中かなあ」

~本は借りる派?買う派?~
本好きあるある!~
T「物語は何度も読み返したくなるから買うけど、それ以外の一般書などは借ります」
M「家がマンションでスペースが無いから、借りるだけ。本はほとんど持っていない。高校を卒業したら、どこで借りよう...」
T「ですよね!僕もそれは悩んでいます。あと読書に集中しちゃって、気が付くととんでもない時間になっていることありません?」
M「ある!“本好きあるある”だね~(笑)」

~本を読むと賢くなる?~
M「そんなことはないと思うよ」
T「国語の文章を読むのは早くなるけど、例えば主人公の心情を的確に答えられるようになるわけじゃないと思う」
M「そうだねえ。あと、流行りの『ライトノベル』は展開や心情をありのままに書いているけど『文学的』って言われるような小説は、暗喩や伏線で読者に推測させる面が強いよね!」

~子どもの頃の読書事情は?~
M「小学校の頃も、一日一冊は本を読んでいたなあ(しみじみ)」
T「自分もそんな感じだった。人気だった『ゾロリ』とかよりも、ディズニーの小説版とかばっかり読んでいた」
M「私は『名探偵』シリーズとか『黒魔女さん』とか」

~お互いにイチ押しの本を!~
T「篠田かつら先生の本にハマってる!」
M「私は『名探偵』シリーズとか『黒魔女さん』とか」



広報班のおしごと

④ 「おとなの本のむし」 作成

- 先生や親など、大人に読んでもらいたい本を委員が選び、「大人の本のむし」として編集・発行しています。
- 夏休みなどの長期休み中には、教員室のリフレッシュスペースにおすすめ本を置いたコーナーを作っており、楽しみにしている先生もいます。





広報班のおしごと

⑤ 「POP版本のむし」の作成



- POPとは本の紹介カードのことで、キャッチコピーやイラストで飾り本と一緒に展示するものです。
- 委員が作成したPOPを集め、「POP版本のむし」として編集・発行しています。
- POPではなく「本の処方せん」など違った形で本をオススメをしてもらうこともあります。

企画班

図書室を盛り上げるための
さまざまなイベントを企画します。

中3～高2までの委員8～11名が、
週に1回の企画会議を行っています。

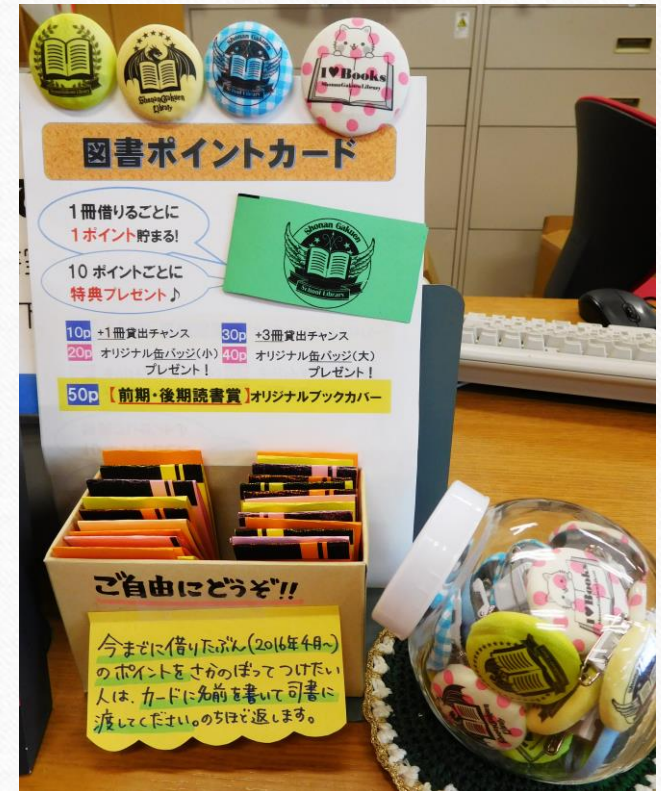




企画班のおしごと

① 図書ポイントカード&読書賞

- 生徒の貸出利用を増やすため、1冊借りるごとに1ポイント貯まる、**ポイントカード制度**を導入しました。雨の日は+1ポイントもらえます。
- ポイントを貯めると、景品の入ったガチャガチャを回すことができたり(②)、いつもより多く本を借りられる特典がつきます。
- **読書賞**として、前期・後期でそれぞれ50ポイント以上集めた人にはブックカバーが、年間で100ポイント以上集めた人には全校の前で賞状が授与されます。





企画班のおしごと

②景品ガチャガチャの作成



- 図書ポイントカードのポイントを貯めた生徒が回すことが出来る、**景品ガチャガチャ**を作成しました。
- オリジナルデザインの缶バッジも委員の手作りです。
- 学園祭の古本市では景品付きおみくじガチャガチャとして外部のお客様にも楽しんでいただきました。



企画班のおしごと

③ コーナー展示の作成



- 季節にあわせたテーマを設定して委員がおすすめ本を選び、図書室の中央の展示コーナーで紹介します。
- おすすめコメントを書いたPOPも作り、装飾などにもこだわっています。



企画班のおしごと

④ 「チャリティ古本市」の実施

- 不要になった古本を学内から集め、学園祭にて「チャリティ古本市」として販売します。
- 売り上げはすべて、本に関わるチャリティ団体に寄付しています。団体と一緒にワークショップを行うこともあります。
- 今年で4回目の開催となり、学内外の多くの方にご好評いただいています。





企画班のおしごと

⑤ 「先生この本読んで！」朗読CD



- 声ですてきな先生10名と留学生に本を朗読してもらい（留学生は母国語）、その音声データをCDにまとめ、生徒が視聴できる朗読CDコーナーを作りました。
- 音声データは生徒のみが閲覧できる **Youtube** の学園公式チャンネルにアップし、オンラインでも視聴できるようにしました。
- 朗読した本の紹介をパンフレットにまとめ配布しました。



企画班のおしごと

⑥ 「Book×Music×Week」

- 放送委員とのコラボで、**お昼の放送**で1週間にわたって、本の紹介とそれに関連する音楽を流してもらいました。
- 本と曲を紹介するCDブックレットを作成し、配布しました。図書室前にはセレクトした音楽が聴ける視聴コーナーを設置しました。





企画班のおしごと

⑦ 「本のレンタル福袋&名言みくじ」



- 新年に「本の福袋」と題して、委員がそれぞれテーマを設定した袋に、3冊の本を選んで入れ、貸し出します。もちろん中身を見ることはできません。
- あわせて、委員が本から引用した名言に解説をつけ、今年の運勢を占うおみくじを作成します。たくさんの生徒にひいてもらい、大好評でした。



企画班のおしごと

⑧ 「図書室の使いかた」 動画作成



- 図書室の利用方法を分かりやすく解説する動画を一から作成し、**中学1年生のオリエンテーション**で上映しました。
- ユーモアたっぷりの内容が大好評で、中学1年生が図書室に親しみをもつ大きなきっかけになります。



本はひとり3冊まで、2週間かりることができます

